

江教組ニュース

2015
No. 19

都教組江戸川支部
TEL 3651-3153
FAX 3655-3521

「戦争法の廃止を求める」2000万署名

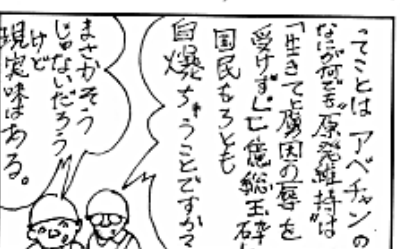
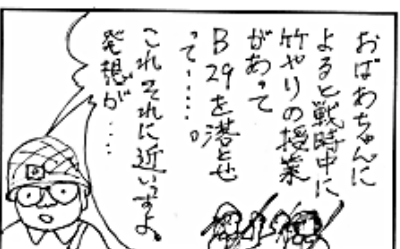
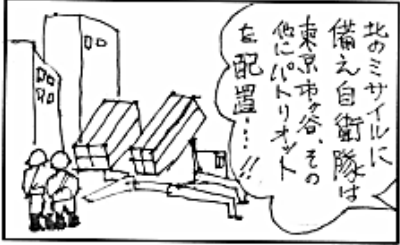
江教組1100筆突破!!

安倍晋三の妄想と暴走をなきものにするのが緊急の課題であることが明白になってきた。

★安倍、緊急事態条項を突破口に明文改憲発言!!

★夏の参院選について、自民、公明両党だけでなく、おおさか維新の会など一部野党も含めた改憲勢力で、憲法改正の国会発議に必要な参院の3分の2議席を目指す考えを示す。

鉄が折れる音の けいけろく



シールズ、渋谷に1万人

安倍政権に反対するデモ行進が14日、東京・渋谷であり、参加者は「安倍政権NO!」「野党は共闘」と書かれたカードを掲げ、渋谷と原宿の街を歩いた。

安倍政権に反対するデモ行進が14日、東京・渋谷であり、参加者は「安倍政権NO!」「野党は共闘」と書かれたカードを掲げ、渋谷と原宿の街を歩いた。

行進に先立って開かれた集会の会場となった代々木公園のケヤキ並木一帯には多くの参加者が集まり、政治学者の中野晃一さんが安保法制について「憲法を壊す、立憲主義をないがしろにすることのどこが保守なのか」と力説。精神科医の香山リカさんは「もはや平和は静かにつくるものではなく、強引に奪おうとする人から闘って奪い返すものになった。一緒に立ち上がって怒りを表明しよう」と述べた。

「市民は学者よりも知恵がないかもしれない。アーティストより影響力がないかもしれない。だが、我々には意志がある」。学生団体「シールズ」の中心メンバーの一人、牛田悦正(よしまさ)さんは香港で起きた民主派のデモ「雨傘革命」の参加者から聞いた言葉を紹介し「諦めない意志が大事」と呼び掛けた。(毎日新聞)

江教組女性部と江戸川母親大会連絡会は二月三日、タワーホール船堀で「江戸川女性のつどいー八法亭みややっこの憲法断ー憲法学んで平和を守ろう」を開き一〇八名の参加がありました。八王子合同事務所の飯田美弥子弁護士が「八法亭みややっこ」と称して「歴史に学び、未来を志向する日本国憲法」というレジューメ付きの落語を一時間三〇分にわたって熱演しました。①憲法とは何か?②日本国憲法の理念③自民党改憲草案の理念④自民党改憲案の危険性を爆笑を誘いながら、分かりやすく演じました。こんな話し方だったら、みんな、聞いてくれるだろうな。無関心な人にぜひ、聞かせたいと思いつつ、明るい気分になりました。その後、会場から『一般教員が生徒に壇上の国旗に向かって礼をするように指導した方が良く、発言する。』等、教育の危機的状況、2000万署名が順調に進んでいる等の報告がありました。

安倍晋三首相が年頭会見(4日)以来、憲法の条文そのものを変える明文改憲に強い執念を示し続けている。自民党改憲草案(「日本国憲法改正草案」)にある「緊急事態条項」の創設などを、夏の参院選の争点にする構え!!

「改憲を考えている、未来に向かって責任感の強い人たちと3分の2を構成していきたい」。安倍首相は10日放送のNHK番組・党首インタビューで、参院選で自民、公明両党のほか、おおさか維新の会など改憲に賛同する勢力で改憲発議に必要な3分の2の議席確保を目指す意向を示しました。さらに12日の衆院予算委員会では

江戸川女性のつどい

八法亭みややっこの憲法断

憲法学んで平和を守ろう

に108人



江教組女性部と江戸川母親大会連絡会は二月三日、タワーホール船堀で「江戸川女性のつどいー八法亭みややっこの憲法断ー憲法学んで平和を守ろう」を開き一〇八名の参加がありました。八王子合同事務所の飯田美弥子弁護士が「八法亭みややっこ」と称して「歴史に学び、未来を志向する日本国憲法」というレジューメ付きの落語を一時間三〇分にわたって熱演しました。①憲法とは何か?②日本国憲法の理念③自民党改憲草案の理念④自民党改憲案の危険性を爆笑を誘いながら、分かりやすく演じました。こんな話し方だったら、みんな、聞いてくれるだろうな。無関心な人にぜひ、聞かせたいと思いつつ、明るい気分になりました。その後、会場から『一般教員が生徒に壇上の国旗に向かって礼をするように指導した方が良く、発言する。』等、教育の危機的状況、2000万署名が順調に進んでいる等の報告がありました。

東京都小・中学校 教職員の皆様へ

安心してのびのびと 教育活動をするための あなたに贈る

教職員賠償責任保険

ぜひご加入ください

詳細はパンフレットをご覧ください。

募集期間:2016年1月15日~2月22日
補償期間:2016年4月1日午後4時~
2017年4月1日午後4時

訴訟にならない損害賠償請求にも対応。小さなトラブルから相談に乗ります。

お問合せ先:桜保険事務所
〒188-0011 西東京市田無町 3-2-17
TEL:042-467-4152
受付時間:月~土 9:00~18:00
(休業日:日・祝日、12/31~1/3)

桜保険 桜保

引受保険会社:東京海上日動火災保険㈱

どんな時代でも、為政者の暴走は許してはいけない。 そのために学び続ける子どもたちを育て、私たちも学び続けなければならない。



江戸川学び合う学びの会第16回学習会

一月二日(木) 東葛西中学校、大島先生の三年生国語の授業を提案いただき一六回目の学習会をもちました。一〇名の参加があり今回は中学校の先生が沢山いらっしやいました。「コ」の字四人組の雰囲気味わってもらうためにということでもう一つ大島先生のクラスでした。ビデオでみる生徒たちは一人残らず、授業に参加している、表情も生き生きしているところが印象的でした。授業づくりの工夫を沢山学ぶことができ有意義な学習会でした。

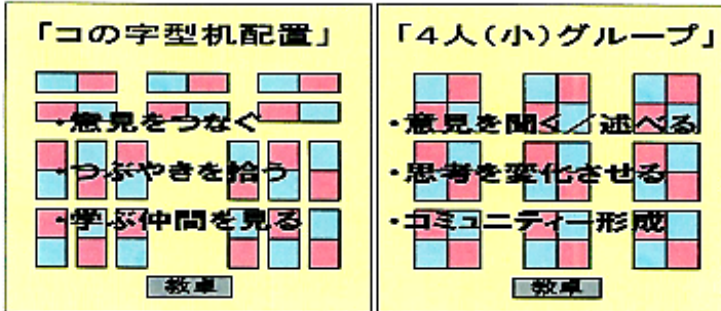
「コ」の字型机配置「4人グループ学習」とは？

1人残らず学習に参加する授業 ～コ」の字型と4人グループ学習～

「学びは出会い」と「対話」である」と言われています。授業において、教師主導型の一方的な授業展開では、理解がされないまま先へ進んでしまう状態の生徒が多く出ます。これは、通常の授業(一斉型)では分からないことがそのまま置き去りにされ、授業が進んでしまうことが多いのです。

その要因として、従来の一斉型では、教師の発問に対する答えは常に教師に聞かれがちであることがあげられます。生徒と生徒の関係は結ばず、何かを疑問に思っている生徒をそのままにしてしまいがちです。一方、「コ」の字型机配置では、生徒の発言は教師にだけでなく、みんなに発言を聞いてもらうことができます。1人に指名し、その答えに対して他の生徒が尋ねる対象は先生ではなく、始めに答えた生徒になります。そこで生徒同士の関係が生まれます。ある子が発言したら「なんでそう思ったのか」を聞き、その返事を全体につなぎます。この取り組みではじめて1人の意見が全体に共有されます。疑問のつづやきを教室全体で解決していく展開を教師は常に考えていきます。

4人グループ学習は2つのタイミングで取り入れます。1つめは、「コ」の字型における課題をさらに深めて議論するときです。文章の解釈や解答に至る解法など、いろいろな意見が生まれるものについて意見の交流を促します。多様性・多面性をお互いに認め合わせていきます。2つめは、自分1人では解けない問題に直面したときに、誰かに聞かせる(依存させる)ときに用います。3～4人の小グループにおいてさえコミュニケーションが図れないことは、生徒のスキルの無さにもつながります。わからないことを仲間に関ける少しの勇気を渡し、互いの人間関係の向上を目指します。



2つの手法を用いて授業を展開

教室の床に「コ」の字型机配置は黒で、「4人組グループ学習」は赤で机配置が分かるように印をつけます。「4人組グループ学習」では男2人女2人のグループで対角の位置に同性が座ります。

まずは授業に「活動(作業)」と「協同(グループ学習)」を取り入れてください。

- ◇ 個人的に「変わったなあ」と思うこと
 - ①余談がほとんどなくなった。←以前は授業のなかで大切だと勘違いしていた。
 - ②テンションが下がった。←習慣化したと思う。習慣化して良かったと思う。
 - ③課題の答えを伝えなくなった。←ずいぶん悩みました。今でもたまに悩む。
 - ④生徒を見る余裕ができた。←「見る」かな?
 - ⑤楽しくなった。←以前は楽しくなかった。いまは生徒を苦しめて楽しい。
- ◇ 生徒の学ぶ機会を保障する。ヒマにしない。寝かさない。→ 授業者の責任(うけうりです)
 - 塾の先生 … 学びたい生徒を相手とする前提が強い。
 - わたしたち … 必ずしもそうではない生徒が相手。難しいですね。
- 教科係が授業態度を聞いてくる。= 授業者による授業の自己評価 授業の結果「〇〇の私語が多かった」のはなぜか?
- ◇ 申し訳ないが学力向上を目指してはいない。 → 個人的には生活指導?

[授業] 6時間授業 … [5時間] / [学校生活] 朝～終学活 … [7時間]

「教材」と「生徒」
「授業者」と「生徒」
「生徒」と「生徒」 } をつなげる。生徒が、その時間の自分の存在を感じる。
→ 荒れにくい? (うけうりです)

参加された先生の感想から

☆まず、授業を拝見して大島先生の言葉(発問、ヒント等)が印象に残っています。生徒の考えを適度に促す言葉がけがとても勉強になりました。また、授業は学ぶトレーニング場に徹して臨むということには心強く感じました。それが子どもたちの力(人として、学力として)になると確信した思いです。 N中A先生

☆一斉授業では意見の交流が深まらず、話し合いの機会を設けるにはどうしたらいいのだろうと悩んでいます。班学習(生活班)も話し合いに入れられない生徒が出てしまうのでワークシートを用意して最後は私がまとめる形になっていて、子どもたちがいきいきと学び合っているとは言えません。

今日の研修会はとても勉強になりました。いろいろ考えて実践できることを探します。 K中H先生

グループ学習成功のポイント

大島先生からの資料です。

1. グループをどのように組織するか

グループは男女混合の4人を基本とするのが望ましい。…協同的思考を活性化させる4人は、全ての生徒が対等に聴き合い学び合うのに最適
5人以上は、誰かが「お客さん」になりがち
3人以下は、多様な意見の交流が見られない
生活班の活動においてはリーダーが必要だろうが、協同的な学びにおいては誰もが対等であることが重要
その意味で、生活班と協同的な学びのグループとは分けた方がよい

2. いつグループ学習を導入すべきか

①個人学習の協同化

通常、個人学習は一人ひとり黙々と作業する形で行われているが、このやり方では、わかっている生徒はあっという間に作業を終えてしまうし、わからない生徒はじっと鉛筆を握ったまま時間が過ぎていく。どちらも新しい学びしか経験していない。個人学習もグループによる学びとして進めたい。低学力の子が伸びてゆく最大の条件となる。

②背伸びとジャンプのための協同的な学び

多くの生徒が困惑の表情浮かべているときは、ただちにグループにもどって協同的な学びを組織すべきである。そのチャンスにグループ学習を導入し、全ての生徒に「背伸びとジャンプ」に挑戦させることができるかどうか、その授業の成否の鍵となる。授業の「山場」で高いレベルの理解を求めるときも、グループ学習を導入する必要がある。「背伸びとジャンプ」はグループ学習において最も活性化させる。

3. いつグループ学習を終えるべきか

「いつ導入すべきか」と同程度に重要…個々の生徒の学びが消化不良に終わったり、あるいは、だらだらした活動に陥りがち。グループ学習は、学びが成立している限りにおいて進めるべきであり、学びが成立しなくなる直前で終えるべきである。生徒の様子を見て、学び合いに没頭していれば学びは成立しているし、グループの話し合いが散漫になったりおしゃべりになったときは成立していない。その直前にグループ学習を終えるべきなのである。

<小学館「学びの軌跡—学びの共同体を創る」佐藤学>より